

弘前ナンバー導入に関するアンケート結果について

弘前ナンバーの導入を検討するにあたり、市民の意向を確認するためにアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

1 アンケートの概要

項目	内容
実施目的	ご当地ナンバープレート導入基準の緩和により、対象地域の拡大が可能となったため、弘前市及び西目屋村で既に導入済みのご当地ナンバーである「弘前」ナンバーの導入検討を行うにあたり、市民の意向を確認するために実施するもの。
実施方法	郵送配布、Webもしくは郵送回収
対象	市内に在住する満18歳から69歳までの市民
対象者数	2,000人
抽出方法	令和4年8月1日現在の住民基本台帳から、年齢区分ごとに無作為抽出
実施期間	令和4年8月5日～8月19日
項目	問1 あなたは自動車を所有していますか。 問2 あなたは「弘前ナンバー」についてどう思いますか。 問3 図柄入りナンバープレートについてどう思いますか。 問4 あなたの年齢を教えてください。 問5 弘前ナンバー導入について、ご意見をお聞かせください。（自由記載）

2 アンケート結果の概要

2.0 回答状況

- ▷ 回答数は、620人。
- ▷ 回答者の年齢構成は下記のとおり。
- ▷ 回答方法の内訳は、Web回答が496人、郵送回答が124人。
- ▷ 回答率は、31.0%となった。

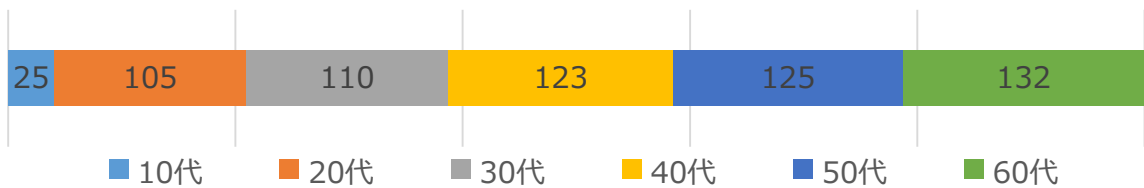


図-0. 回答者の構成

2.1 自動車の所有状況

- ▷ 自動車を所有していると答えた人の割合は9割を超える。

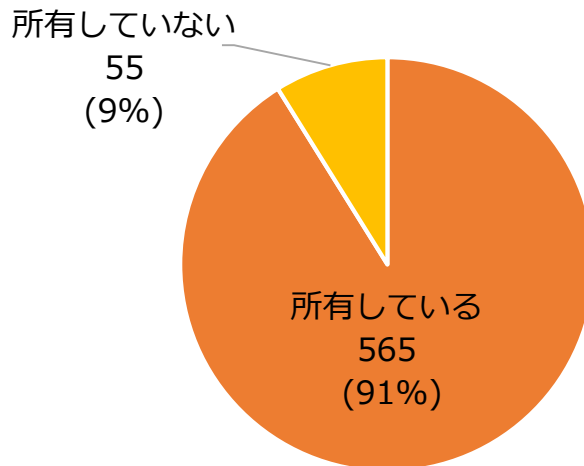


図-1. 自動車の所有状況

2.2 弘前ナンバーに関する意向

- ▷ 「青森ナンバーのままでよい」と答えた人の割合が44%と最も多く、「弘前ナンバーにしたい」と答えた人の割合は20%にとどまった。
- ▷ 年代別では、ほぼ全ての年代で「青森ナンバーのままでよい」と答えた人が上回っているが、50代・60代では「弘前ナンバーにしたい」と答えた人の割合が、他の年代と比較的して高くなっている。
- ▷ また、10代・60代では「特にこだわらない」と答えた人が最も多くなっている。

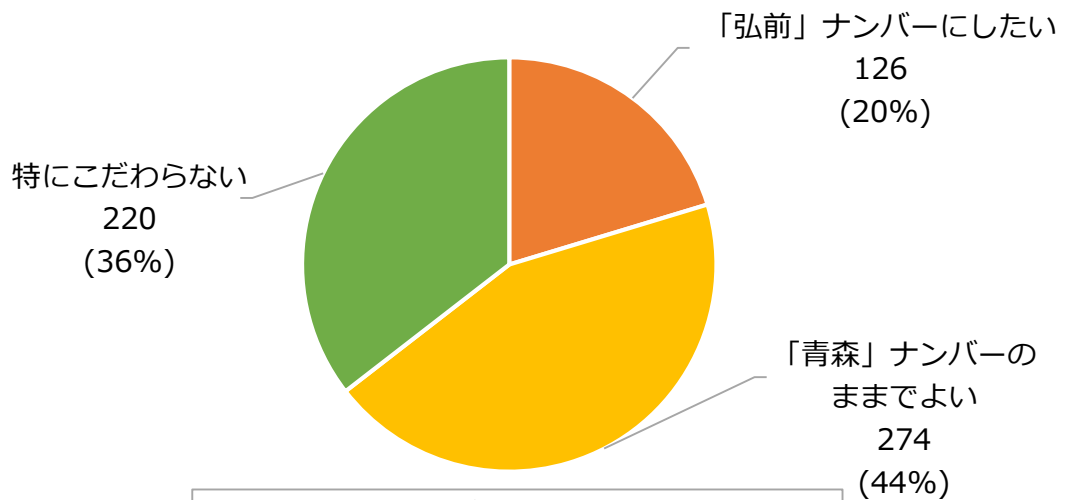


図-2-1. 弘前ナンバーに関する意向（全年代）

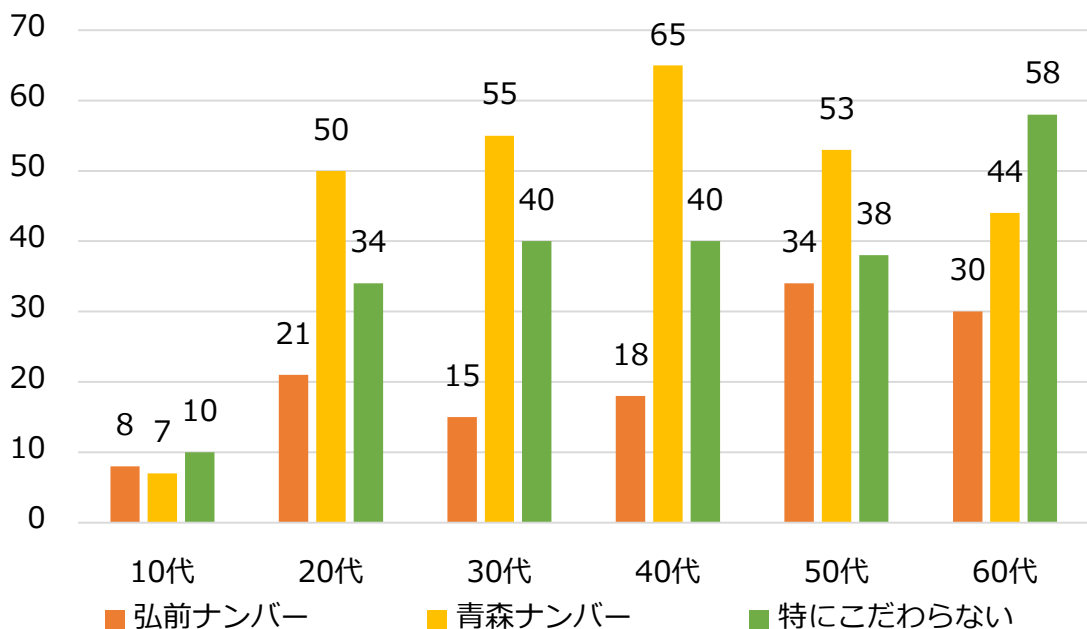


図-2-2. 弘前ナンバーに関する意向（年代別）

2.3 図柄入りナンバープレートの希望

- ▷ 図柄入りナンバープレートを「取り付けたい」と答えた人の割合は、合わせて4割程度。
- ▷ 一方、半数以上の人には図柄入りナンバープレートを希望していない。

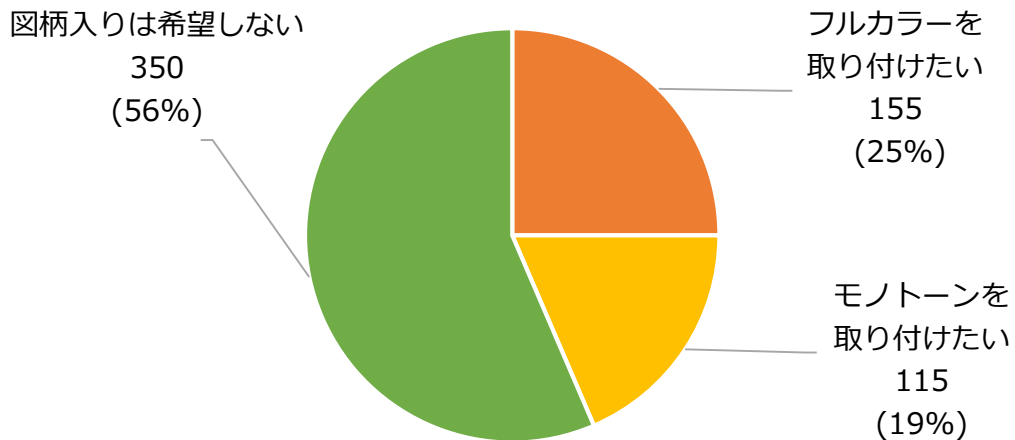


図-3. 図柄入りナンバープレートに関する希望

2.4 回答者の年代

- ▷ 60代の回答率が44%と、各年代の中で突出して高い。
- ▷ 10代~30代は、回答率が平均以下となり、関心が低いと考えられる。

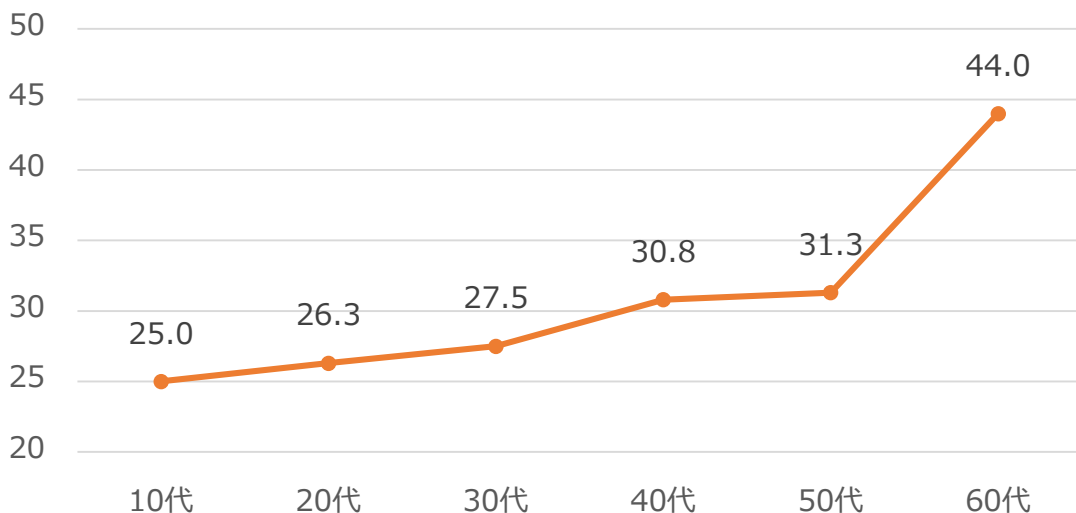


図-4-回答率 (年代別)

2.5 弘前ナンバー導入に関する意見（自由記載）

- ▷ 回答者620人のうち、368人が意見を記載。
- ▷ 主な重複意見は、以下のとおり。

意見	件数
平川市民なのに弘前ナンバーは違和感がある	68件
居住地の特定が不安である	31件
平川ナンバーがよい	26件
選択できればよい	17件

3 弘前ナンバー導入の可否について

- ▷ 国の導入要綱では「地域住民の合意形成が図られている」ことが要件とされている。
- ▷ 今回のアンケート結果では、その要件を満たしていないと判断される。
- ▷ よって、平川市では、弘前ナンバーの導入を見送ることとする。

参考 国土交通省「地方版図柄入りナンバープレート導入要綱」（抜粋）

第1章 新たな地域名表示

I 新たな地域名表示の追加

1 導入の基準

(1) 地域の基準

④ その他

次に掲げるすべての要件を満たすものであること。

(ア) 対象地域において、地域住民の合意形成が図られていること。